

みんなでつくる滋賀県まるごと「こども としょかん」について(イメージ)

目指す姿(仮)

すべての子どもが身近な学校や家庭・地域の人々の関わりにより本に親しみ、より豊かな人生を送ることのできる滋賀

子どもの読書活動に関わる人々、子どもの読書活動を支える人々など、県・市町・民が一体となって、子どもの読書活動を総合的に推進
=滋賀ならではの「こども としょかん」

「こども としょかん」イメージ図



しが子ども読書支援センターは、全県ネットワークにおけるセンター機能(資料や情報の収集・発信、相談、研究等)の役割を担う。

目指す姿

すべての子どもが身近な学校や地域の人々の関わりにより本に親しみ、
「本を読んで、とても楽しかった!」、「本で知りたいことが分かった」、
「調べる楽しさを知った」、「困難な時に、寄り添ってくれる本に出会えた」
といった体験(読書の成功体験)を得られる滋賀

滋賀ならではの「こども としょかん」

コンセプト1

どこでも「こども としょかん」

すべての子どもが身近な環境(学校図書館等)で本に親しめるようにします。

コンセプト2

「支える人」を支える「こども としょかん」

学校・園・ボランティアなど、子どもの読書活動を支援する人を支えます。

コンセプト3

子育て世代に優しい「こども としょかん」

子育て世代にとって魅力ある図書館づくりを目指します。

コンセプト4



みんなでつくる滋賀県まるごと「こども としょかん」



県・市町、官民が一体となって子どもの読書環境の充実を目指します。
県立図書館は全県ネットワークにおけるセンター機能(資料や情報の収集・発信、相談、研究等)を担います。